

読書感想文コンクール結果

今年度も夏休みを利用して読書感想文を書いてもらいました。多くのクラスから次の作品が校内優秀作品に選ばれました。

平成二十年度 校内読書感想文コンクール 優秀作品

● 優秀賞
二六H 島村 真依
題名「パレットの上の世界」
書名「カラフル」
森 絵都
(県コンクール 優秀賞)

● 最優秀賞
二七H 寺西 由貴
題名「日々、砂を掻く」
書名「砂の女」
安部 公房
(青少年読書感想文 全国コンクール 入選賞
石川県読書感想文コンクール 最優秀賞)

一六H 樋口 眞鈴
題名「後悔の意味」
書名「流星ワゴン」
重松 清
(県コンクール 優良賞)

一八H 恒田 響介
題名「存在の死」
書名「死にそこないの青」
乙 一

入賞

一ニH 木村 亮威
題名「この本との出会いから...」
書名「世にも美しい数学入門」
藤原 正彦、小川 洋子

一三H 新出 愛
題名「花を愛した王子様へ」
書名「星の王子さま」
サン・テグジュペリ

一五H 上杉 智子
題名「『ナメケモノ』に学ぶこと」
辻 信一

一五H 村井 佑衣
題名「私が考えるほんとうの幸福とは」
書名「目を閉じて心開いて」
三宮麻由子

一九H 八田 茜
題名「目に見えない大切なもの」
書名「星の王子さま」
サン・テグジュペリ

二二H 茶谷 夏生
題名「家族の存在」
書名「幸福な食卓」
瀬尾まいこ

二二H 吉本有里彩
題名「うつくしいひと」
書名「きりぎりす」
大宰 治

二一H 村田真衣子
題名「本当の国際協力」
書名「アフガニスタンに住む彼女からあなたへ」
山本 敏晴
(全国高校生読書体験記コンクール 入選)

「読書会に参加して」

あまり期待しないで参加した初めての読書会だったが、参加人数も多く、本好きの先生方も何人か来られていた。これまでは、本を読むと、自分の中で感想を持って終わりにしていた。せいぜいハリーポッターを読んだ時に家族三人で感想を言い合った程度である。その点読書会は多くの人がいてにぎやかだったし、自分では思いもつかないような意見・感想もたくさん聞くことができた。お菓子を食べながらの読書会は行ってみると予想外に楽しかったので、次回もぜひ参加したいと思う。

(2年 中田)



平成20年度 図書室・図書委員会の活動

4月 図書委員会 新一年生オリエンテーション実施	9月 図書委員会
5月 図書だより5月号発行 図書委員会 前期読書週間	10月 後期読書週間 図書だより10月号発行
6月 図書だより6月号発行	11月 後期校内読書会開催
7月 図書だより7月号・増刊号発行 前期校内読書会開催 「二水50選」配布 図書委員による 図書選定会	12月 図書だより12月号発行
	1月 図書だより1月号発行
	2月 図書だより2月号発行 図書委員による 図書選定会
	3月 館報「碧水」36号発行

常時...展示物作成、書棚整理、カウンター業務、コンピュータ入力など

図書館利用状況

今年度も図書館利用統計をしました。結果、一年生は一位が一九Hで319冊、二位が一二Hで259冊、三位が一Hで213冊。二年生は一位が二二Hで278冊、二位が二四Hで158冊、三位が一H、二五Hで114冊。三年生は一位が三六Hで241冊、二位が三八Hで136冊、三位が三二Hで134冊でした。今年も多くの本が読まれたようです。

図書館利用統計 (4/8~1/31)

開館日数	184日
入館者数	21,187人
一日平均入館者数	115人
貸し出し冊数	3,103冊
一日平均貸し出し数	16.9冊

編集後記

今回の碧水はいかがでしたか。読書が好きな人はもちろん、そうでない人にとっても、新たな本と出会うきっかけになれば幸いです。取材に協力してくださった先生方、ありがとうございました。



- 谷下 温子(11H)・中村 早織(11H)
- 高桑みさき(11H)・角山 哲史(17H)
- 林 宏樹(17H)
- 黒杉 麻衣(23H)・厚見 匡史(25H)
- 岡田 大志(25H)・松井 聡子(27H)